

(26) 幼稚園利用率 59.0%

指標の説明

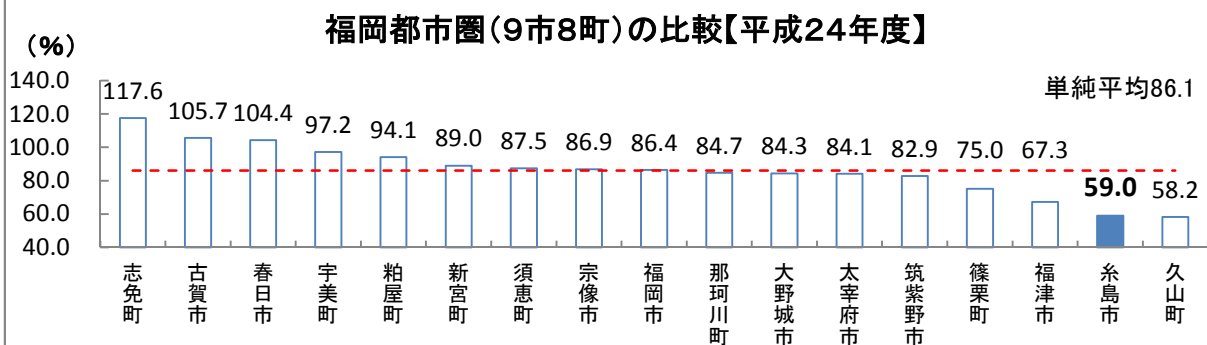
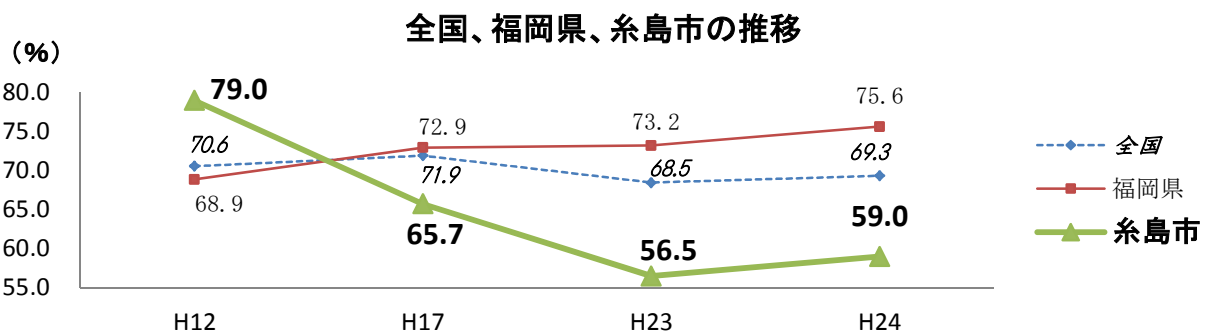
「幼稚園利用率」とは、幼稚園の定員に対する在園者数の割合で、教育行政に係る指標として用いられる。

指標の算出根拠 基礎データの資料

幼稚園利用率＝在園者数÷定員数

【在園者数：823人、定員数：1,395人（平成24年度・糸島市）】

資料：文部科学省生涯学習政策局「学校基本調査報告書」



統計データ(グラフ) から見る市の動向

平成24年度の糸島市の幼稚園利用率は、59.0%。平成12年度以降で見ると、平成23年度までは減少傾向にあったが、平成24年度は増加に転じている。なお、平成12年度からの12年間で、20.0ポイント減少している。

また、全国の69.3%と比べ10.3ポイント、福岡県の75.6%と比べ16.6ポイント低い。

福岡都市圏内では、全17市町のうち下から2番目に低い。

※福岡都市圏全域の幼稚園利用率は86.8%

※福岡都市圏9市8町の幼稚園利用率の単純平均は86.1%

(27) 保育所利用率 118.0%

指標の説明

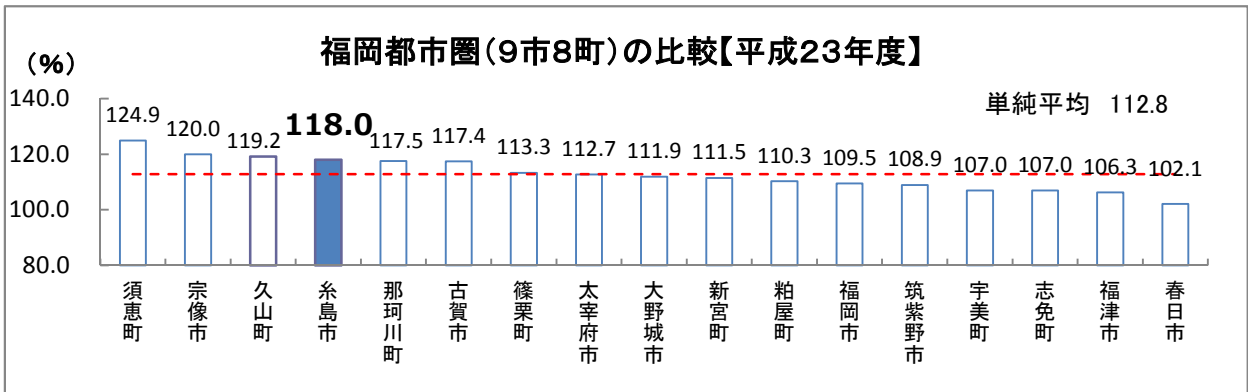
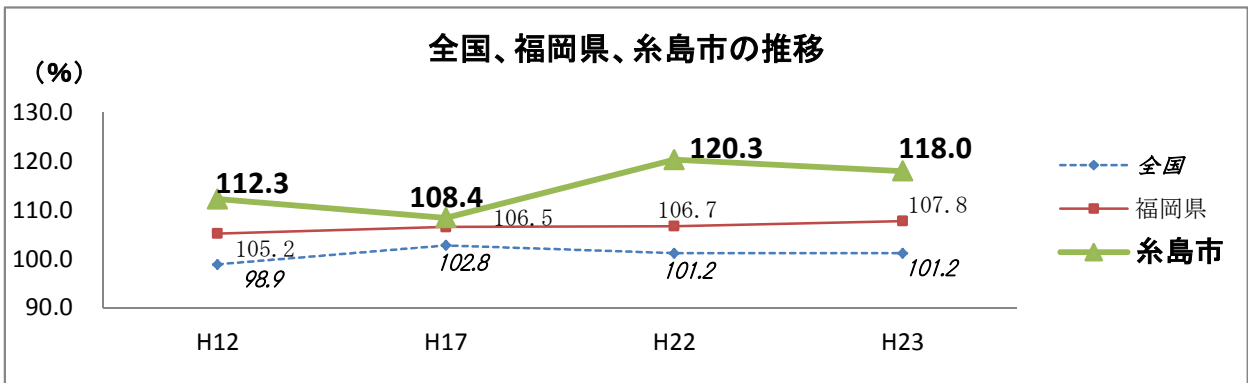
「保育所利用率」とは、保育所の定員に対する在所者数の割合で、子育て支援サービスなどの厚生労働行政に係る指標として用いられる。

指標の算出根拠 基礎データの資料

保育所利用率＝在所者数÷定員数

【在所者数：2,584人、定員数：2,190人（平成23年度・糸島市）】

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査報告」
※調査に対する回答施設のみの集計による。



統計データ(グラフ) から見る市の動向

平成23年度の糸島市の保育所利用率は、118.0%。平成12年度以降で見ると、平成22年度の120.3%をピークに増減しており、11年間で5.7ポイント減少している。

また、全国の101.2%と比べ16.8ポイント、福岡県の107.8%と比べ10.2ポイント高い。

福岡都市圏内では、全17市町のうち4番目に高い。

※福岡都市圏全域の保育所利用率は110.5%

※福岡都市圏9市8町の保育所利用率の単純平均は112.8%

【基本目標2】子どもが健やかに育つまちづくり

(28) 小学校児童数 15.9人 (教員一人当たり)

指標の説明

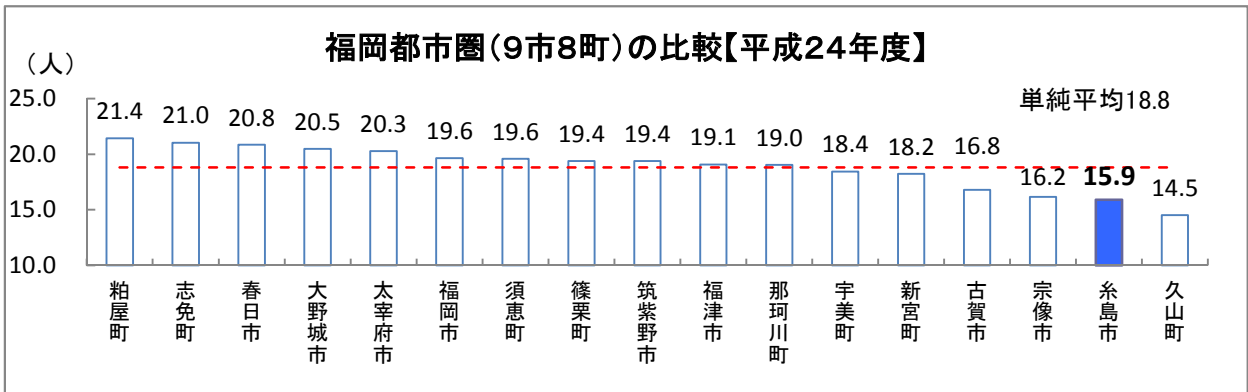
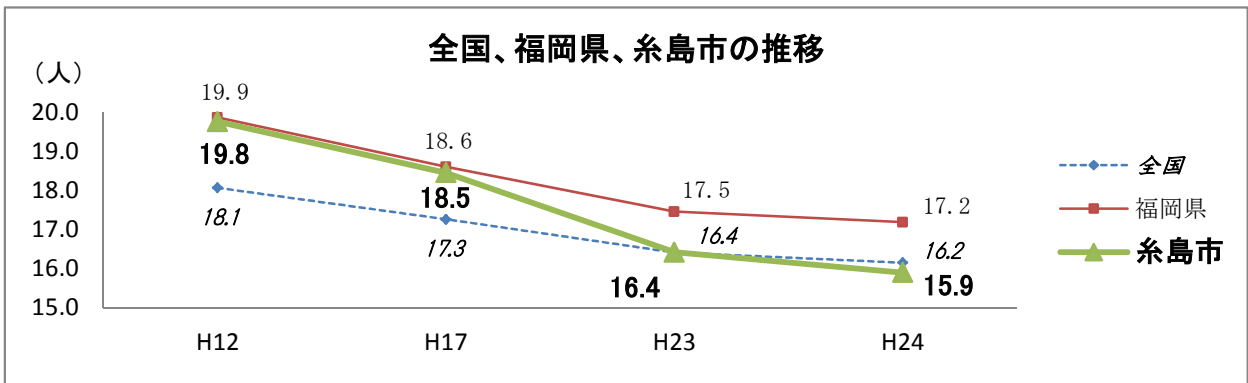
「小学校児童数（教員一人当たり）」とは、本務教員総数に対する児童総数の割合で、学級編制や教員定数など、教育行政に係る指標として用いられる。

本務教員：当該学校に籍のある常勤教員。

指標の算出根拠
基礎データの資料

小学校児童数（教員一人当たり）＝児童総数÷教員総数（本務教員）
【児童総数：5,649人、教員総数：355人（平成24年度・糸島市）】

資料：文部科学省生涯学習政策局「学校基本調査報告書」



統計データ(グラフ)
から見る市の動向

平成24年度の糸島市の小学校児童数（教員一人当たり）は、15.9人。平成12年度以降で見ると、一貫して減少しており、12年間で3.9人減少している。

また、全国の16.2人と比べ0.3人、福岡県の17.2人と比べ1.3人少ない。福岡都市圏内では、全17市町のうち2番目に少ない。

※福岡都市圏全域の小学校児童数(教員一人当たり)は19.3人

※福岡都市圏9市8町の小学校児童数(教員一人当たり)の単純平均は18.8人

【基本目標2】子どもが健やかに育つまちづくり

(29) 中学校生徒数 14.7人 (教員一人当たり)

指標の説明

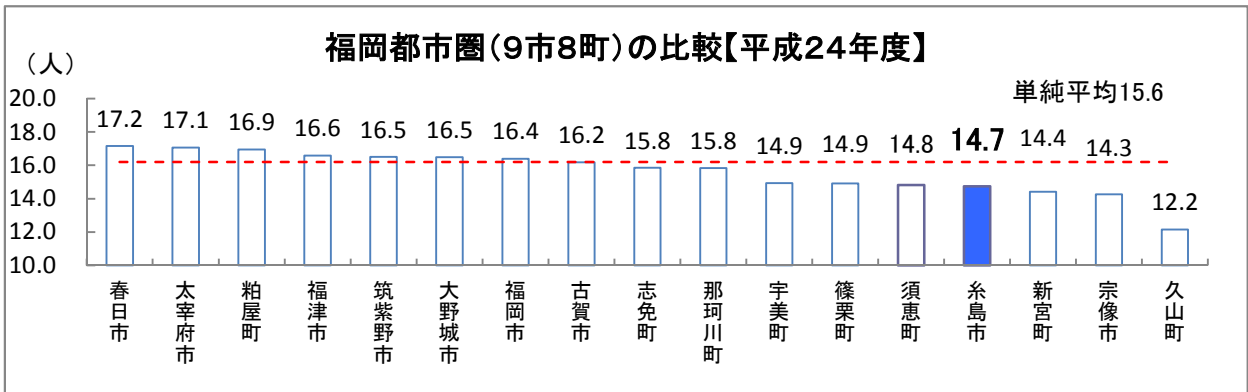
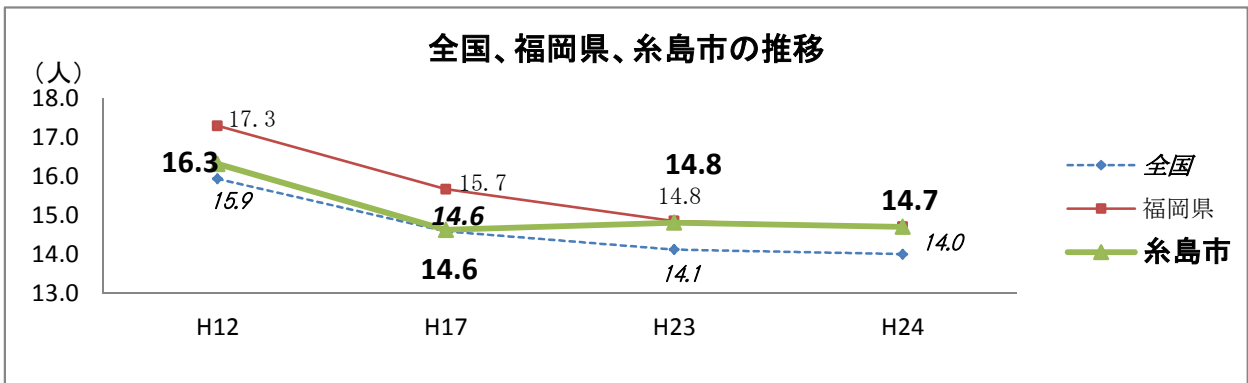
「中学校生徒数（教員一人当たり）」とは、本務教員総数に対する生徒総数の割合で、学級編制や教員定数など、教育行政に係る指標として用いられる。

本務教員：当該学校に籍のある常勤教員。

指標の算出根拠
基礎データの資料

中学校生徒数（教員一人当たり）＝生徒総数÷教員総数（本務教員）
【生徒総数：3,044人、教員総数：207人（平成24年度・糸島市）】

資料：文部科学省生涯学習政策局「学校基本調査報告書」



統計データ(グラフ)
から見る市の動向

平成24年度の糸島市の中学校生徒数（教員一人当たり）は、14.7人。平成12年度以降で見ると減少傾向であり、12年間で1.6人減少している。
また、全国の14.0人と比べ0.7人多く、福岡県と同数。
福岡都市圏内では、全17市町のうち4番目に少ない。

※福岡都市圏全域の中学校生徒数（教員一人当たり）は16.2人
※福岡都市圏9市8町の中学校生徒数（教員一人当たり）の単純平均は15.6人